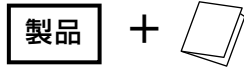


取扱説明書 (品番: SWC)

シーケンシャルウィンカーコントローラー SEQUENTIAL WINKER CONTROLLER

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書は良くお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輪破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない
運転中の製品操作や確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品固定、配線処理は確実に
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- 装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。
- ネジ・部品は元の状態に戻す
- 加工・分解および改造をしない

- 1. 本製品の装着と配線には専門知識が必要です。不安な方は販売店などにご相談ください。
- 2. 弊社では間違った配線や接続不良などによるトラブルの責任は負いません。

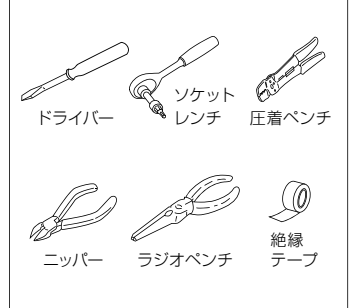
目次

警告・注意・セット内容 1
 特長 1
 各部の名称 1
 接続方法 2
 調整方法 2
 固定方法 2
 車種別の各配線位置と固定例 3~4
 故障かな?と思ったら 4

内容物をご確認ください



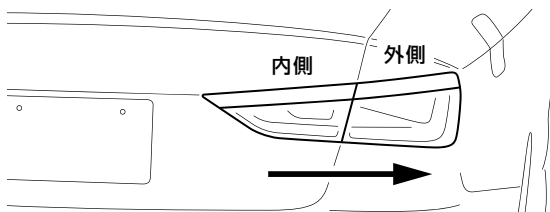
装着時に準備する道具と材料



特長

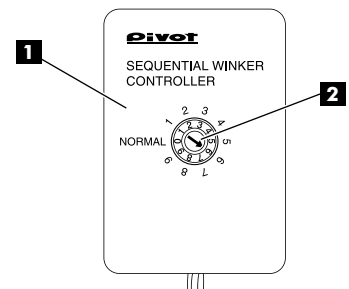
次世代型流れるウィンカーへ変更!

- 外側ウィンカーの点灯を遅れさせることでウィンカーを流れる状態にします。



- マイコン制御で温度や電圧変動による影響のない安定した動作。
- 遅延時間は純正状態から最長0.1秒まで10段階に調整可能。
- 35×51×23mmの小型ユニット
- 道路運送車輛法の保安基準適合品

各部の名称



- 1 ユニット
- 2 調整ダイヤル 外側ウィンカーの点灯時間調整用

接続方法

基本配線

※ 配線は左右のテールランプに必要です。

接続手順

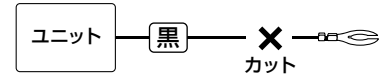
- 1 キースイッチをOFFにする
- 2 ウインカー信号をカットしオス/メスギボシを装着しユニットの紫/茶コードと接続する
- 3 黒コード先端のクワ型端子を切断し、黒コードをアースへ接続する。
- 4 ウインカーの点灯状態を確認し必要に応じてユニットの調整ダイヤルを調整する
⇒ 下記【調整方法】参照
- 5 ユニットの固定する
⇒ 下記【固定方法】参照

ウインカー信号

- 紫** ウインカー信号の車側側に接続する。
 - 茶** ウインカー信号のテール側に接続する。
- ウインカーを点滅させ、
点灯時=12V 消灯時=0Vのコードへ
付属のギボシを使用し接続する。

アース

- 黒** 黒コード先端のクワ型端子を切断し、付属のカットギボシを使用して接続する。



【参考1】カットギボシの使い方

1		2		3		※かきしめる際は圧着ベンチを使用するか、ペンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。
	接続するコードの被ふくをむく。		製品コード先端の被ふくをむく。		両方の芯線を絡める。	
					確実にかきしめる。	
					ビニールテープで絶縁する。	

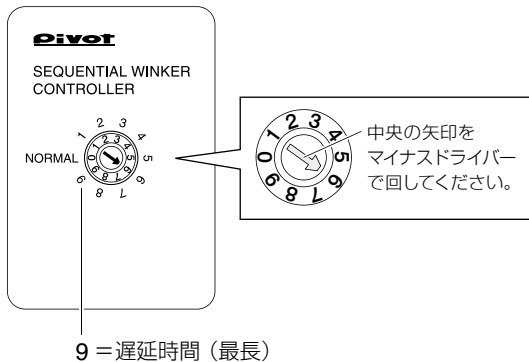
【参考2】オス・メスギボシの使い方

1		2		3		内側の圧着部は芯線と、外側の圧着部は被ふくの上からそれぞれ圧着ベンチで確実にかきしめる。
	コードにオススリーブを通す。		コードの先端を10mmくらいむく。		先端を折り返す。	
4		5		※オス・メスギボシは接続後、オススリーブがメススリーブの内側に入るようにしっかりねじ込む。		
	オススリーブを各かきしめ位置に固定する。					

調整方法

調整ダイヤルを回し外側ウインカーの点灯時間を調整する

左右の点滅確認はハザード状態で行い、調整は左右同じ数値にします。
※推奨値は6～9

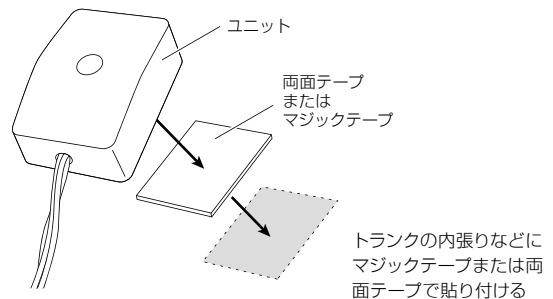


ダイヤル	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
遅延時間 (x 0.01 秒)	ノーマル 純正状態	2	3	4	5	6	7	8	9	10

遅延時間とは内側ウインカー点灯後、外側ウインカーが点灯するまでの遅れ時間です。

固定方法

ユニット背面に両面テープまたはマジックテープを貼り付け、調整しやすく水のかからない場所に固定する

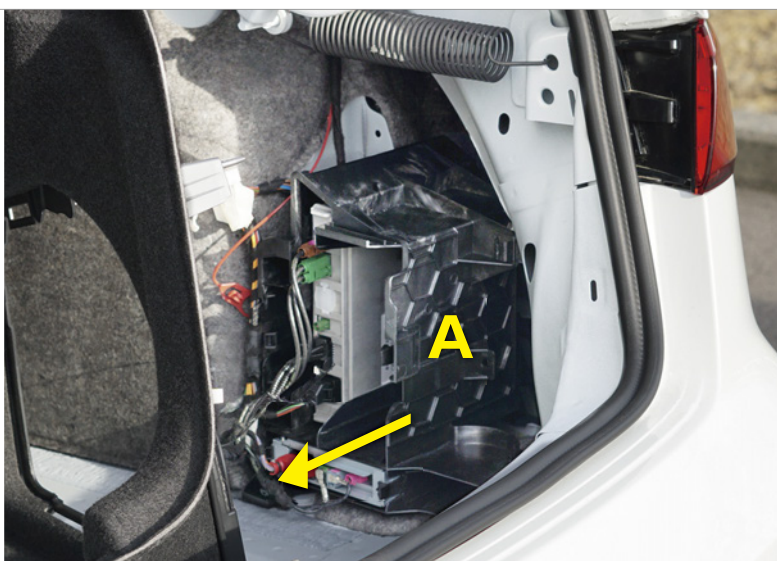
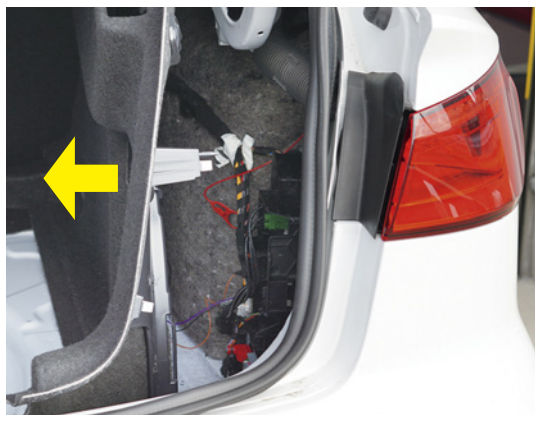


車種別の配線位置とユニット固定例

Audi A3/S3

※写真はセダンの例です。

- 1** 外側テールランプ裏の内張りを一部はずし、
右側はA部を一式はずす



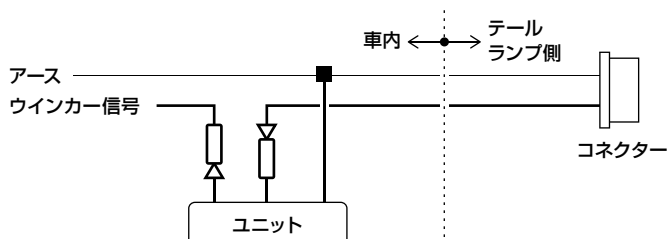
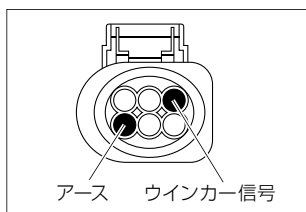
- 2** 外側のテールランプをはずす



- 3** テールランプのコネクターを抜き、ウインカー信号と
アースのコード色を確認する



(コード側から見た図)



- 4** トランクルームのコードの束の中から同色のコードを探し、
各ギボシで接続する (⇒ 2ページ【基本配線】参照)

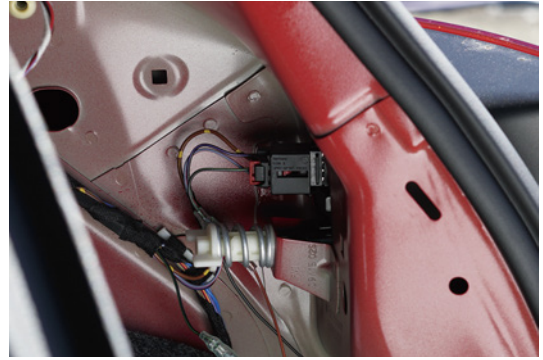
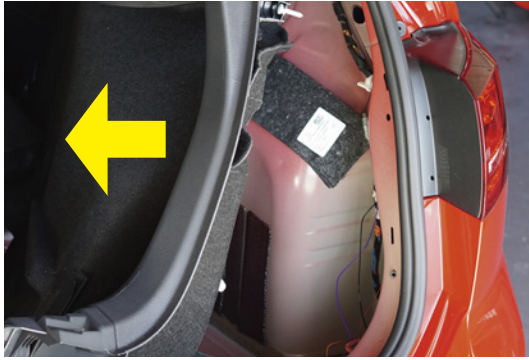


- 5** 左側のテールランプも同様に接続し、外側ウインカーの点灯時間を調整する (⇒ 2ページ【調整方法】参照)

- 6** ユニートを車内の調整しやすく水のかからない場所に固定する (⇒ 2ページ【固定方法】参照)

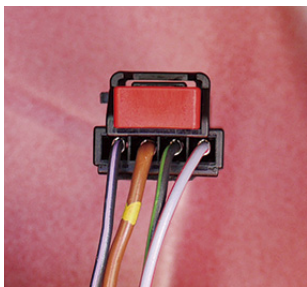
1

外側テールランプ裏の内張りを一部はずし、テールランプのコネクターを確認する

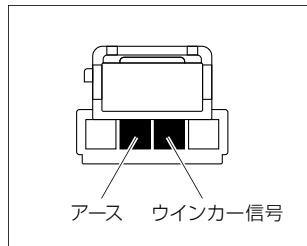


2

テールランプのコネクターを抜き、ウインカー信号とアースのコードを確認する

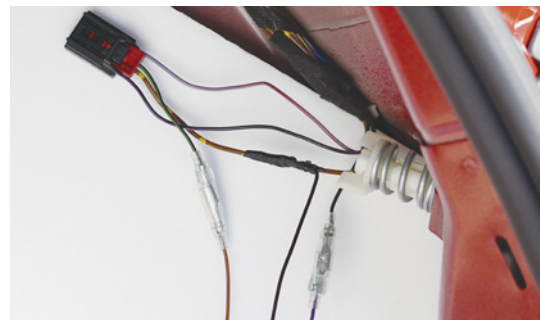


(コード側から見た図)



3

確認したコードに各ギボシで接続する
⇒ 2ページ【基本配線】参照



4

左側のテールランプも同様に接続し、外側ウインカーの点灯時間を調整する
(⇒ 2ページ【調整方法】参照)

5

ユニットを車内の調整しやすい水のかからない場所に固定する
⇒ 2ページ【固定方法】参照



故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
テールランプが点灯しない。	紫 茶 黒 コードの接続不良。	再度 紫 茶 黒 コードの接続確認を行ってください。
点灯時間が変わらない。	調整ダイヤル が0になっている。 (0=ノーマル状態)	再度 調整ダイヤル の確認を行ってください。

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
 ※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
 ※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。